

IV 2020ちばおもてなし隊ビルドアップステージの推進

本章は、本年度の事業実施に当たり、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を配慮し、実施方法を工夫した取組等をまとめたものです。

1 withコロナの時代のおもてなし活動

令和2年度の2020ちばおもてなし隊の活動は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が2度にわたり発せられるという事態の中で、これまでにない形での事業推進を行うこととなった。

不要不急の外出の自粛が求められ、また「密」を避けソーシャルディスタンスを確保するなどの必要があることから、従来のような形での打合せやイベントの開催について、発想の転換が求められた。

このような中で、事業推進のために、以下のような取組を進めた。

(1) オンラインによるイベント開催

令和2年度は、ワークショップ、おもてなし動画アワード（審査会を含む）及びフォーラムなどのイベントを開催したが、いずれもオンラインでの開催とした。

このために、主にZoomを利用する機会が多くなったが、Zoomの無料版では3人以上が参加する場合40分で終わってしまうなどの制約があるため、100人までの参加が可能で、24時間使用できる「プロ」というプランを契約し、各種イベントに対応できるようにした。

参加者の中には「Zoom」が未経験という方もいたので、学生団体おりがみが制作した「Zoomの使い方_おもてなし隊」という資料を提供し、参加をして頂いた。併せてイベント当日もZoomの接続テストの時間を設けるなどの対応をした。

イベント開催にあたっては、中学生、高校生が参加するイベントでは、意識調査などから土曜日よりも日曜日のほうが参加しやすい傾向があるため、ワークショップ2回のうち1回及びフォーラムはいずれも日曜日の午後開催とした。

(2) 打合せもオンラインで

イベントのオンライン化に並行して、関係者との打合せなどもオンライン（Zoom利用）及びメールによる打合せが多くなった。

特に大学生については、一時期、大学へ行くこともできず、ほとんど在宅でオンライン授業という状態であり、打合せもオンラインとメールがメインとなった。

また、学校関係者については、各学校での感染対策のこともあり、部外者が訪問することはできるだけ差し控える、ということからメールや書簡による打合せ、意見交換が中心となった。

2 広報について

イベントなどの告知、参加者募集などについては、従来からの学校などを通じての告知に加え、おもてなし隊広場を通じた告知、千葉県の実業である「都市ボランティア体験プログラム」への参加者を通じた告知、各自治体の市民活動支援センターなどを通じた告知などにより、多くの皆さんにお知らせすることができた。

イベントごとの広報については以下のとおりであった。

(1) おもてなし動画アワード2020

- チラシ（A 4）10,500枚、ポスター（A 3）2,300枚を印刷
- 高等学校、特別支援学校、市町村、同教育委員会、県内生涯学習施設、都市ボランティア体験プログラム参加者、千葉県子ども会育成連合会事務局などを通じて配布
- おもてなし動画アワード2020の作品募集時期に合わせて、新たに「2020ちばおもてなし隊」のホームページを開設し、告知を開始
- 千葉県のホームページなどでも紹介
- おもてなし隊広場を通じての募集を行い、併せて学生団体おりがみが制作したサンプル動画の配信を行う
- 千葉県高等学校文化連盟放送専門部会に作品募集の協力を要請
- 令和2年11月には、千葉県が「都市ボランティア体験プログラム」参加希望者を対象に「チームYELL」のメンバー募集を行い、その申込み方法としておもてなし動画アワードへの投稿の呼びかけを行う
- 県庁記者クラブを通じて、令和2年9月1日に報道機関各社に資料を提供

(2) オンラインワークショップ「わたしたちのおもてなし」

- チラシ（A 4）20,000枚、ポスター（A 3）2,000枚を印刷
- 高等学校、特別支援学校、大学、市町村、同教育委員会、県内生涯学習施設、都市ボランティア体験プログラム参加者などを通じて配布
- 「2020ちばおもてなし隊」のホームページ、おもてなし隊広場で告知
- おもてなし隊広場では、学生団体おりがみが制作した「企画案の作り方」の動画を配信し、参加へのモチベーションアップにつなげた
- 千葉県のホームページ、千葉県スポーツコンシェルジュ「メールマガジン」などでも紹介
- 県庁記者クラブを通じて、令和2年9月28日に報道機関各社に資料を提供

(3) フォーラム「みんなで作る『わたしたちのおもてなし』」

- チラシ（A 4）25,000枚、ポスター（A 2）2,300枚を印刷
- 高等学校、特別支援学校、大学、市町村、同教育委員会、ホストタウン商工関係団体、県内生涯学習施設、都市ボランティア体験プログラム参加者などを通じて配布
- 「2020ちばおもてなし隊」のホームページ、おもてなし隊広場で告知
- 千葉県のホームページ、千葉県スポーツコンシェルジュ「メールマガジン」などでも紹介
- 県庁記者クラブを通じて、令和3年1月15日に報道機関各社に資料を提供